第２回適正規模・適正配置等検討委員会　議事録

日　　時　：令和３年７月28日（水）午後７時00分から
場　　所　：室戸市役所　２階　第１会議室
出 席 者　：事務局（４名）百田教育長、小松主監、村上補佐、髙﨑班長
　　委　員（15名）見津田秀賢、海老川悦子、清水美和、藤田勇人、北村卓、
　　松村宗介、宮﨑一志、谷本恵司、貝川和嗣、前田康司、谷村正幸、
　　見津田優希、松岡敏幸、武井知香、小松伸稔
欠 席 者　：委　員（８名）白竹博信、濱田昭、松本将道、高﨑君明、藤本陸、東野裕一、
　　北村和之、松尾拓哉

１　開会
２　教育長あいさつ
３　自己紹介
４　副委員長の選出

副委員長に見津田秀賢氏を選出

５　議事
（1）室戸市における保育所及び学校の現状
（事務局より説明）

（2）適正規模・適正配置アンケート結果報告
【小中学校】
小規模となっても地域に学校を残してほしいという意見が約３割
統合はやむを得ない、統合すべきという意見が約６割
学級数については複数学級が望ましいという意見が約６割、１学級が約３割
【保育所】
現行の保育所または地域に一つは残してほしいという意見が約８割
一定規模の保育所となるよう統合するという意見が約２割

（3）意見交換
（各テーブル５人ずつに分かれ意見交換）
・地域のために学校を残すではなく、子どもの安全や教育環境を第一に考えて検討してもらいたい。
・子どもの安全を考えて高台移転は必要。
・統廃合は仕方ないことだと思うが、小学校低学年や保育所などの小さい子供たちには配慮してほしい。
・最低限保育所は地域に１つはほしい。
・地区ごとに小中学校を統合してはどうか？
・羽根小学校や室戸中学校については津波の心配もあるので早急に移転の検討が必要。
・学校の規模ごとに大規模校と小規模校など、複数あってもよいのではないか？
・教員配置等も考えると小規模校のままでは専門教員がおらず教育の面白さを伝えるのが難しいのではないか？

・子どもたちの生活リズムが変わることに対するケアが必要。
・統廃合となった場合、スクールバスで通学することになると思うが、乗車中に南海地震等の災害が起こった際の避難経路や避難場所等の周知徹底が必要。
・学校施設を建てる場所の検討は？建設地の住民理解も必要。
・人数が少なくなる前提で話が進んでいるが、移住者などにより人口を増やす検討も必要ではないか？
・津波対策に統廃合する必要があるのか？
・全員の意見が揃うことはできないと思うが、問題をひとつずつ解決していかないといけない。
・いろいろな意見があるが、総合的に考えて、落としどころを見つけなければいけない。
・統合となっても最小限にしてもらいたい。

（4）その他

事務局より、次回の日程について、１０月頃に開催することとする。